



がん登録の現場から

専門医による診療の質向上 全国が信頼する食道外科専門医

竹村雅至医師は、2026年7月より当院院長を務め、外科専門医として、食道がん・食道裂孔ヘルニアの外科治療に注力。大学病院でも難しいとされる高難度の手術を担い、遠方からの紹介患者さんも積極的に受け入れています。

院内がん登録データでは、**2017年の赴任以降、食道がんの登録件数が増加。**

食道裂孔ヘルニア手術は、**全国でも5年連続日本一の実績を誇ります※。**

地域と全国から信頼を集める**食道疾患の専門医**です。



※2019～2023年 厚生労働省DPC公開データ・病院情報局情報に基づく当院調べ

院長 竹村雅至医師 消化器外科/食道外科専門医

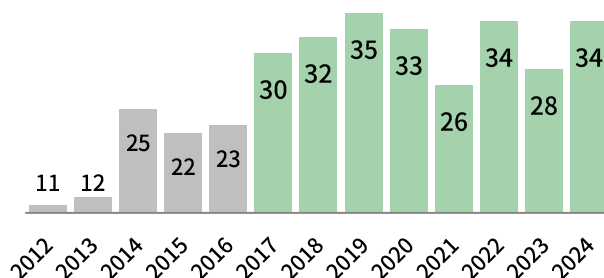


主な資格

- ・日本外科学会 指導医・専門医
- ・日本消化器外科学会 指導医・専門医
- ・日本内視鏡外科学会 内視鏡外科技術認定医
- ・Da Vinci Console Surgeon
- ・日本内視鏡外科学会ロボット支援手術プロクター（大腸）
- ・日本胸部外科学会 指導医
- ・がん治療認定医 / 医学博士



食道がん 院内がん登録数推移



竹村医師が2017年に南大阪病院に着任されてから、食道の専門的な治療が大きく進みました。2012年に11件だった食道がんの登録数は、2017年以降、30件台に増加し、その水準を維持しています。高難度の食道がん手術に対応できる体制が整ったことが、この変化に表れています。

2017年には食道疾患の腹腔鏡手術も導入され、今では全国から患者さんが相談に訪れる、食道外科専門医です。

がん登録を支える診療情報管理士

診療情報管理士は、患者さんの診療記録を適切に管理し、医療の安全と質の向上に貢献する専門職です。電子カルテを活用し、診療情報を整理・分析することで、精度の高い医療の提供を支えています。また、院内がん登録の情報管理を通じて、がん診療の質を高め、医療を支え、未来へつなぐ情報の架け橋となっています。「確かな情報が患者さんの未来をひらく」その想いを胸に、日々業務に取り組んでいます。

診療情報管理士指導者/院内がん登録実務中級者認定 梅本

がん登録

